

ちいさく想ふ

空山ぼくじょうようちえん ぽっか通信 Vol.53
2021.1期終了号

梅雨の豪雨の休園、梅雨明け後のめっちゃくちゃな暑さのここ数日。
年々確実に温度上昇はしていて、これから先が不安に思うほどです。昭和に生きた私たち
高度経済成長という名のもと工業地帯の煙や、車の排気ガスや、いろいろすごいなーと思ってい
た小学生時代です。なんか、名前は忘れましたが、科学物質の警報が出ると、プールが中止にな
りました。その時代から、自然界をいじめ続けてきた人間たちに、地球が怒り、今の異常気象に
なっているのだと思うのです。ごめんなさい。子どもたち。コロナも、環境も、しいては教育問
題も、生きづらい世界に、大切な子ども時代を過ごすことになってしまい・・・
私たちの子ども時代は、こんなことはなかったなー。そりゃ暑いし、ウイルスだって、すごい台
風だって、地震だってあったけど、こんな感じじゃなかったなー。
もうこれ以上、地球に負担をかけないで、爆発させないような暮らしや生き方を本気でしないと
いけないと思います。

昨日、保護者会の役員の方々に暑い中、お集まりいただき保護者会ででたお話しを伺いました。
毎日の送迎や、先日のキャンプ等、皆さんのご協力がなければできないものです。
いつもいつもホントにありがとうございます。

みなさんのご意見、真摯に受け止めていきたいです。

1期のスタッフの振り替えり、丁寧にゆっくりみなさんの思いを受け止めながら、これからは、
子どもにとっての最善を、考えていきます。

みなさんの思いや気づきは、なるべく早く伝えていただけたらなといつも思います。

いいづらさも、話しかけにくいタイミングばかりなのも、充分承知しています。

できるだけそうならないように、配慮はしていますが、そうならないのは、私たちの努力不足な
のでしょう。朝の送りの時、お迎えの時に、お話し聞かせてもらえたらと勝手に思ったり。

お伝えいただいた課題も、早めにいただけたら、皆さんがそんな風を感じていらっしゃることが
分かれば、私自身もスタッフも配慮、工夫はその時からできるかなと考えます。

ホントに勝手ではありますが。

えんちょーの立場としては、子どもたちの最善と、保護者の皆さんの思いと、スタッフの思いと
力量と働き方をキチンと把握し、ぽっかの運営をしっかりとしていかななくてはいけない責務が
あるのです。まだまだで、申し訳しわけないではすまないですが、私も途上です。

保護者と園とで同じ方向をみて子どもたちを育てていきたいと思っています。

気になること、異論は大事です。引き続きよろしくお願いします。

さあさあ、1期終了です。楽しく無事で何よりです
今しかできないことを、家族で楽しんでくださいね～。

ゆうこ♡

ゆめぐみさん

なつ
つ
(き)

とってもかしこいなつくん。時間の概念がまだ2歳なのにしっかりあって1日の予定がちゃんと頭に入っています。「お父さん、お迎え来る？」って何度も聞いていた入園当初がものすごく前に感じます。初めて、お父さん、お母さんから長く離れて、知らない大人、子ども達がたくさん場所とっても心細かったはず。「おうちがいいよ〜!お母さんがいいよ〜!」と大泣きするのではなく、いつどのタイミングでお迎えが来るか確認するなんて高度だわと今振り返ってあらためて感心します。色んなことが一旦腑に落ちるとぐんぐん楽しめる!直線ではなく階段状に成長を感じるなつくんです。

出産を迎えたお母さんと長く離れる試練の夏ですね。でも、おじいさま、あーちゃんにしっかり見守ってもらえる環境だからお母さんも安心して出産を迎えられたんだろうと家族の絆を感じます。アカハライモリをたくさん驚掴みにしたあの瞬間、生き物への興味が一気に湧いた気がします。来年、再来年…それを持ち帰る術を見つけたとき、福平家は「今日は何を持って帰るんだ?!」とドキドキしながら帰りを待つ日が来るような気がします。

かき
つ

ご両親がさみしく感じるくらい、幼稚園に溶け込むのも、お友達を作るのも早く、泣いちゃったのは引越して環境が変わってすぐの1日だけのよう…コミュニケーション能力と適応力が高いれんくん。今はまだ、思いを言葉にするのが難しいゆめぐみさんさんですが、何とか言葉を紡ぎだして一生懸命伝えたいとがんばる姿や、お話ししている子の目をじっと見て素人する姿も素敵だなと思います。大きな声で泣いちゃうこともあるけれど、きつともどかしいんどよね。がんばれれんくん!

1日を一杯、常にフルパワーで楽しむ姿は清々しさを感じます。泥遊び、水遊び、オガ遊び、馬のこと…すべて楽しんで、ぱっかを余すことなく堪能しているりんちゃん。「オレ!オレ!」って言いながらもひらひらした可愛い洋服を見せに来てくれる女子力も兼ね備えています。あれ?4月、あーちゃんがいいーーーー!って泣いてた気がする。気のせいだったかな?りょうたんのことを「オレのりょうたん」って呼ぶところもたまらなく可愛くて、兄二人はメロメロだろうと察します。

りん
た

名前の由来の通り、まっすぐ自分の道を歩んでいる真歩っぺ。周りのお友達に流されることなく、仲良しのお友達を特定することもなく、自分のしたいことをその場にいるお友達と黙々と楽しむ感じ、とても憧れます。森のようちえんで幼少期を過ごした子ども達は自己肯定感が他より強いというのはいろんな研究結果から知られるところですが、真歩ちゃんは持って産まれたもののような。私は私でいいのよって思えるすごいこと。素敵だな。

ま
ほ

今年のゆめ組さんたちはみんな1期に3歳を迎える中、はるたんは早生まれ。この時期の月齢の差はとっておおきいけどあんまりそれを感じさせない大物感。お母さんがお迎えに来たら甘えん坊ちゃんに変身するけど、ついこの間まで1歳だったんだよねと思うとよくやっていると感心。お友達の名前もどんどん覚えて色んなこと教えてくれます。ホントは色んなことわかっているのに、分からないふりしてニヤリと笑ってサラッとかわされちゃう。やっぱり大物だわ。

はる
た

やまゆ 



じりじりと照りつける太陽、蝉の声が響く森、蒸し風呂のような車内。暑い夏がやってきましたね。私は暑さは苦手ですが、夏の楽しいことは大好き！1期のクライマックスを迎えたばかりでも、夏ならではの遊びで季節を楽しんでいます。

なんといっても水遊び。ポンプにエアが入ってしまってゴホゴホとむせる井戸水のホース。がんばれ〜！と声をかけて、それでもダメなら井戸のそばのポンプまで駆けつけます。やっとジャージャーと出始めた井戸水を砂まみれの体に向けられ、気持ちいい！サイコー！と叫ぶりょうたくん。泳げるほど深いプールはばっか史上初。「ロケット競走しよう」とりょうたんがビュンと蹴伸び。水の冷たさにぶはーと勢よく飛び出して、大笑いしていました。毎年猛暑に悩まされる空山ですが、今年は大型プールで夏を乗り切れそうです。

そして虫たちの季節。トトロの森の持ち主、渡辺さんが立派なクワガタをばっかの子どもたちに持ってきてくれたり、夜中コンビニをまわって探したり、さまざまなルートからゲットしているみたいです。えみちゃんも誇らしげにカゴからツヤツヤしたノコギリクワガタを出して見せ合っていました。恒例の流しそうめんの後日、余った竹で竹灯籠をそうたと2人で作りました。穴が少なくて火がうまく燃えなかったけど、作り直すうちに道具を上手に扱えるようになりました。

2期にはどんなそらぐみの姿を見られるか楽しみですよ！

のんちゃん

夏ですね！！引き続きパッカのプールが大活躍しています。朝から当たり前のように水着に着替え次々とプールに入る子どもたち。そうめん流しで作った竹で水を流し入れたり、ホースでトンネルを作ってくぐったり、ボールプールにしたりと色々な遊びを楽しんでいます。つくしちゃんとの寒天プール遊びでは、手で割ったり、握って潰したりと感触を楽しみました。水の中に入れると見えなくなる寒天を、宝探しのように手で探り、「あ！発見！！」と嬉しそうに見つけたりもしていました。最後はタモをもって「シラスすくいだー」と、大騒ぎしながら集めました。

畑では、大洪水に負けることなく(トウモロコシは全滅でしたが、他野菜は無事でした！)すくすく育ち、トマトときゅうりと茄子とピーマンを収穫することができました！！収穫したトマト&きゅうりはそのまま丸かじりしました。包丁で切ろうとすると「切らんでいい！そのまま丸かじりするわ」と手に取る男の子たち。ムシャムシャと食べていました。トトロの森では“秘密基地づくり”も、盛り上がっています、木の枝を沢山組み合わせ壁にしたり、木の皮を屋根にしたり、木の欠片を床に敷いたり、少しずつ家らしくなっています。そら組からの影響を沢山受けて日々鍛えられていくやま組の子どもたち。これからもどんどん深まっていく遊びを見守って行きたいと思います。

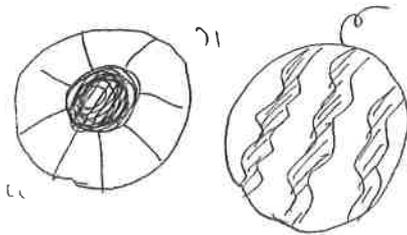


ゆめぐみの1期



この間の懇談にむけて、4月からのゆめ組の写真や記録を見返してみました。
別になにかできるようになった！とかそんな大きなことはないんだけど、
りんなは「よっちゃんかのんちゃんがいい！！」と山で泣いてそのまま寝たな。
はるたんはクッキングで集まった米をかき混ぜては霽し、みんなでひろったな。
れんくんはまさかのちいくんというライバルにびっくりしてたな
まほちゃんはりんなとずーっと遊んでたけど、最近はそれ以外の友達とも遊んでる！
かずみつはあーちゃんたちと離れたくなくてすごい力でしがみついて泣いてたな
なつきは「おかーちゃんいつかえってくる？」と泣いては寝てた。
思い出されることはいろいろあるけど、ほんとに少しずつ歩んできているゆめぐみ。
それがいいな。子どものペースで、家族のペースでひとつずつ、ひとつずつ一緒に進んで
いきたいです。

このひと夏を越えたら、ぐっと成長しそうなみんな。
秋にはぱっかりんぴっくにポニフェスにもりだくさん。
秋にみんなが揃うのが待ち遠しいなっちゃんです。



ざーざー ふうてまだやまない。どこまで降るのか、どこまでこの土地はたえられるのかと思った。
この前の大雨。空山にも川ができた。ぽっかり畑にも滝のように水が流れてみ。見えているのは
支柱だけ というときがありました。(気にかけてくれたスタッフはじめみなさんありがとう。)
次の日、雨が少し弱まって行ってみると(もう全滅かなあーと鬼いつ。...)
なんとほとんど全部 残っていました！
| 昔 あきらめていた。まびいて植えかえたばかりの大豆の苗も、しっかり根がういて無事でして！
根っこがしっかり根がういていることの大切さ。こんなにすごいことがあっても生きてる。
「いのちの根っこ」をうたっているぽっかり。自分たちのことながら、改めていい言葉だなあと
しみじみ思いました。

もりにい

梅雨が明け、外からは“じー”という蝉の声が聞こえ始めましたね！子どもたち、蝉の声！どこから聞こえるのかなあ？あの木かな？子の木かな？と自然の声に耳を傾け、自然に触れる姿がみられるこの頃です。

4月からあつという間に終わりの日・・・入園・進級式、親子遠足（空山で馬に乗ろう！）、薪の会、山菜採り、キャンプ etc.。なんだか駆け抜けた感じです。

先日は、お忙しい中懇談ありがとうございました。いろんな話の中で、今のきぼうぐみのみんな、お家でしっかりと自分の気持ちを言葉はもちろん、泣いたり叫んだりしながら全身で伝えているんだな！、しっかり3～4歳の道を歩き、お父さんお母さんは「大変です！」と言いつつも、十分受け止めてもらいながら成長している様子が伝わってきました。

そして、生活のこと、お弁当のこと、友だちのこと、話をしたことを振り返り、保育の中で十分子どもと関わっていないところもあり、良い気づきとなりました。

その気づき反省から、傍で寄り添いながら、子どもの今どうしたらに向き合い“できた！”の笑顔が増えるよう考えていきたいなと思いました。急かさずスモールステップで一ひとりの心にできたを積み重ねて、目に見えずとも自信につながっていけるように見守り、“小さなできた！”を増やしていきたい”そんなふうに思いました。

いよいよ夏休みですね！2期の始まりにいろいろな話を聞くのが今から楽しみです。良い夏休みをお過ごしください！

さぼさん

これからのもやし。

7月31日(土) 熊井浜での初カヌーの夏はあかからはじめます！
久しぶりの海で緊張感とワクワク感がいっぱいあります。

海や川のおもしろさは、たぶん多量？「命がけ」の部分があるからと自然界のエネルギーを丸外に体にうつりこめるからなのだと思います。

たとえでも命がけはいいけません。100%の安全を配慮せねばいいかとスタッフ一同、当日イメージして、できる最善で、わかってもらいます。

そこで、お願いです！！

① 集合時間は守って下さい！(朝は早いのですが、遅いです)

なぜと、注意の共有や説明を済ませるの、お話をきいてから、カヌーとなります。

前回の海での事故も、集合時間に遅れ(いろいろ事情があるのはわかります)で来て、注意がたぶんいき届いておた部分もあつかな？と思っています。

② あつさんからは目を離さないで下さい！もちろん園主催の行事ですし、私たちも全力で見守りますが、100%の安全を考えると、保護者の方もよくほんとにお願いします。とあつさん2点、どうぞよくお願いします。